150人が交通安全パレード

警察音楽隊も応援

春の全国交通安全運動初日の四月六日、日ごろ積極的に交通事故防止に取り組んでいる、交通安全市民会議のメンバー百五十人が市内をパレード、プラカードを掲げ交通弱者の事故防止などを呼びかけました。

まず、市役所北側駐車場に集まり出発式。川田健男南国警察署長が「市民がお互いに注意し合うことによって防げる事故は多い。シートベルト、ヘルメットの着用など、まず身近なところからやっていくことが大切」とあいさつ。その後、交通安全母の会など四団体が、交通事故防止への決意表明を行いました。

そして、いよいよ出発。この日は警察音楽隊の応援もあり、軽快なマーチに乗って、電車通りを東へ南国警察署までパレードしました。

今回の重点目標は、子供と高齢者の事故防止、二輪車の事故防止、シートベルト着用、飲酒運転の追放の四つです。最近の特色としては、お年寄りの事故が増えていることと、ミニバイクの普及で二輪車の事故が多くなったことが挙げられます。〝交通安全は家庭から〟と言われるように、まず家庭から意識を高め、交通事故防止につとめましょう。

警察音楽隊のマーチに乗って市内をパレード

安全運転管理者協議会など四団体が、決意表明

桜花の下で琴演奏や野だて

西野々熊野神社

花吹雪の中、琴の演奏や踊りなど楽しむ――陽気もやっと春らしくなった四月八日、恒例の観桜会が、満開の西野々熊野神社で開かれました。

これは、幅広い文化活動を続ける市文化推進協議会（島村辰彦会長）が五十三年から毎年開いているもので、今回は特別養護老人ホーム『土佐清風園』（国沢守道園長）のお年寄り三十七人も招待しました。

満開の桜の下に作った舞台では、有志の会員による琴の演奏や日本舞踊が披露、隣りの席では野だても行われ、お年寄りや訪れた家族連れも、優雅な雰囲気の中で花見を楽しみました。また、市観光コンパニオンの二人の女性をモデルに写真撮影会も行われ、アマチュアカメラマンがさかんにシャッターを切っていました。

琴の演奏など楽しんだ観桜会

下田村共同利用施設が完成

ジェット化に伴う騒音対策事業で

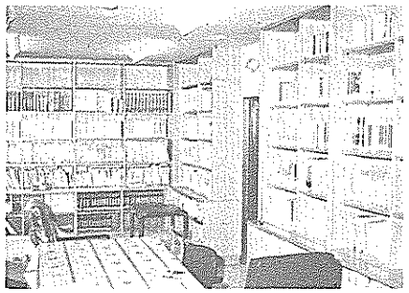
高知空港のジェット化に伴う、騒音対策事業として進められていた下田村共同利用施設がこのほど完成、四月四日落成式が行われました。

この施設は、老朽していた下田村公民館に代わるものとして国、県の補助を受けて、約二千八百万円で建築。鉄筋コンクリート平屋建て、一四八・四五平方㍍で、集会学習室、休養保育室、便所、調理実習室となっています。

落成式には地元関係者ら五十人が出席、完成を祝いました。

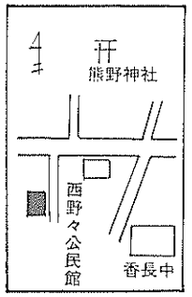
館長の竹村保夫さんは、「今後、子ども会、老人クラブ、婦人会など地区民の幅広い学習活動、親ぼくの場として、大いに活用してゆきたい」と、話していました。

下田村に完成した共同利用施設


楽しい本もいっぱい――西野々にできた小さな図書館

西野々に小さな『図書館』

故溝渕忠廣さんの遺志で



子供好きだった父のためにと、資料館の一部を図書館に――。

昨年九月、大埇西野々に住む溝渕忠廣さんが亡くなられました。溝渕さんは、繁藤小学校で二十八年間校長を勤められ、自宅前には建国紀元復興関係資料館を建て、資料の収集など熱心に研究されていた方です。

そこで、この資料館をもっと地域の人に利用してもらえる方法はないかと、遺族の方が考え、子供好きだった溝渕さんの遺志を継いで、児童図書館にすることになったものです。

今年に入り、地元の人にも呼びかけ本の寄贈をしてもらい、四月のオープンには児童図書千四百冊、一般図書九百冊となりました。また毎月十冊ぐらいは、自費で新しい図書もそろえる計画だそうで、まさに手作りの図書館です。

貸し出しのお世話をしている中沢裕さん（溝渕さんの長男中沢忠比古さんの妻）は「できるだけ多くの人に利用して欲しい。私も、折り紙、紙芝居など勉強し、子供たちといっしょになって楽しめるような図書館にしていきたい」と話していました。

貸し出し日は、毎週土曜日（午前十時～午後一時～五時）と日曜日（午前十時～午後五時）。図書は一人四冊までで二週間借りられ、主に小学生を対象としています。

※ご家庭で不用となっている図書がありましたら譲ってください。連絡先は☎(64)0295中沢まで。

〝野菜集出荷施設〟完成

差圧式予冷庫完備

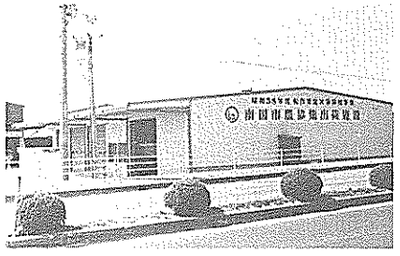
（市国南農協）

市内では、幅広い転作作目が栽培、増産されている中、南国市農協ではこのほど、五十八年度転作安定対策特別事業により、市農協本所の南に、南国市農協集出荷施設を建築し、四月三日、その落成式が行われました。

施設は、鉄骨平屋建て、スレート葺、四八二・七平方㍍で、三基の予冷庫が装備され、総事業費約三千八百万円をかけた立派なものです。

特に、三号予冷庫は、県下で初めて設置された差圧式で、予冷時間が、今までの約三分の一に短縮でき二三時間で完了とのこと。

転作により栽培、収穫されたスイートコーン、中国野菜などを鮮度を落とさずに、より速く全国へ出荷できるもので、空港ジェット化に対応した集出荷施設として期待が持たれています。



完成した市農協集出荷施設